

2008年10月7日

2008年度ノーベル物理学賞に高等研フェローの 南部陽一郎先生、小林誠先生が受賞

2008年のノーベル物理学賞は南部陽一郎先生、小林誠先生、益川敏英先生の三氏が受賞されることが発表されました。研究者顕彰の最高峰であるノーベル賞の受賞が決定されたことを心よりお喜び申し上げます。

三氏のうち、南部陽一郎先生と小林誠先生は国際高等研究所と関係が深く、高等研フェローとして研究活動をされていました。以下、両フェローと高等研との関わりを簡単にご紹介いたします。

■ 南部陽一郎先生 米シカゴ大学名誉教授、高等研フェロー (招へい期間：1999年11月16日～12月15日及び2000年5月16日～6月15日)

期間中は奥様帯同で高等研宿泊施設に滞在され、静かな研究環境が気に入られての二度の滞在を満喫されました。専用の研究個室で研究の取りまとめや関西地区に専門を同じくする多くの研究者との活発な交流をなされたことです。

その具体的な内容は、

- (1) フェロー研究会「量子場理論における対象性」(2000年6月8～9日)
- (2) フェロー公開講演会「素粒子物理学の100年」(1999年11月27日)
- (3) 上記講演会の講演録を元にまとめられた

高等研選書8『素粒子物理学の100年』を刊行(2000年11月)

などです。

※選書に関するご質問は、下記までお問い合わせください。



* ISBN4-906671-07-1
価格 500円(税込)

■ 小林誠先生 高エネルギー加速器研究機構名誉教授、高等研フェロー (招へい期間：2006年9月5日～)

年に数回来所され、企画委員会への出席を通じて高等研の研究事業活動への参画や研究者との交流に積極的に活躍されています。日常生活から離れ高等研での静かな研究環境を高く評価され、論文執筆をされています。

具体的には、

- (1) 『素粒子物理学はどこへ向かうのか』の執筆(2006年12月)
- (2) 『Electronic Dipole Moment of Magnetic Monopole』の執筆(2006年12月)

などです。

[お問い合わせ先]

財団法人国際高等研究所

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
TEL : (0774)73-4000 FAX : (0774)73-4005
URL : http://www.ias.or.jp E-mail : www_admin@ias.or.jp